

1 最も有力な整備候補地としている「盛岡インターチェンジ付近」の状況

整備候補地	① 地域住民や関係者の意見等 (住民説明会等での意見, 地域振興策の要望等)		② 整備の確実性 (地権者の状況, 覚書協議等)	③ 整備運営上の諸条件 (造成, 建設, 収集運搬の費用等)	整備候補地の状況 (①~③のまとめ)
	現況	課題等			
盛岡インターチェンジ付近	<p>【土淵地区の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年5月の「土淵地区まちづくり懇談会」(盛岡市主催)において「土淵地区の均衡あるまちづくり」の要望を受け, 地区(全6町内会)で懇談会を開催し, 地域住民との意見交換を重ねてきた。</li> <li>地域住民の参加の下, 平成31年2月に「秋田市総合環境センター」を, 令和元年7月に「仙台市松森工場」を, 9月に「武蔵野クリーンセンター」及び「桜環境センター」を視察した。</li> <li>令和元年9月には, 専門家を招いて「廃棄物エネルギーの利活用とまちづくりに関するシンポジウム」を開催し, 講演・ディスカッションを行った。</li> <li>平成29年10月, 令和元年6月, 8月, ごみ処理広域化に反対する団体から, 広域化等への反対要望書が反対署名(計1,988人分)を添えて提出された。</li> <li>地域内には反対意見もあるが, 全般として, 地域振興・まちづくりに期待する意見が多く寄せられてきた。</li> <li>令和3年2月, 「土淵地域活動推進協議会」(全6町内会等で構成)から, 「盛岡インターチェンジ付近が整備予定地に決定された場合は, 受入れを決定し, まちづくり計画の策定に向けて準備を開始する意向」が表明された。</li> </ul> <p>【太田地区の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年3月, 令和元年9月及び11月の住民説明会では, 参加者の多くから, 広域化や施設整備に反対する意見が寄せられた。</li> <li>平成31年3月, 令和元年6月, ごみ処理広域化に反対する団体から, 広域化等への反対要望書が反対署名(計1,583人分)を添えて提出された。</li> </ul> <p>【令和2年度の住民説明等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は, まちづくりの現況をお知らせする資料の全戸配布(6月。土淵地区), 広報への特集記事の掲載(8月), 「住民説明会等で寄せられてきた意見や質問に対する回答や考え方など」を, 図表, イラスト, 画像等を活用し, 分かりやすく説明する内容の「<u>ごみ処理広域化や施設整備に関する冊子</u>」の全戸配布(11月。土淵地区・太田地区)等により, 丁寧な説明に努めてきた。</li> <li>令和2年11月に配布した「冊子」に対し, 地域住民からは「地域の総合的な発展に結びつくならば, 施設整備に賛成する」, 「説明は十分であり, 早く決定すべき」, 「分別の統一を住民に指導できるのか」, 「市内への施設整備は理解するが, 渋滞発生が心配だ」などの意見が寄せられた。</li> <li>ごみ処理広域化に反対する団体からは, 冊子の配布に抗議し, 広域化等に反対する要請書, 及び整備予定地選定作業の中止を求める要請書が提出された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は, 印刷物の全戸配布等により, これまで住民説明会等に出席していない住民にも, 幅広く丁寧な説明を行い, <u>広域化や施設整備に対する理解の浸透が進んできている</u>と考えられる。</li> <li>地域には様々な意見があることを踏まえ, <u>事業を進める各段階において, 地域への説明・意見交換を継続していく必要がある</u>。</li> <li>令和3年2月に「<u>土淵地域活動推進協議会</u>」から左記の意向が表明されたことを受けて, <u>廃棄物エネルギーを利活用したまちづくり計画の策定に向けた地域との協議等を進めていく必要がある</u>。</li> <li>ごみ処理施設の仕様等(焼却炉の形式を含む。)については, 地域住民の参加の下で開催する有識者会議において, 講じていくべき環境対策の内容と併せて, 検討を進めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地は旧上厨川地区土地区画整理事業跡地であり, <u>地権者からは, ごみ処理施設の整備を含め, 土地利用の推進を望む意見も寄せられてきた</u>。</li> <li>「土淵地域活動推進協議会」から「<u>ごみ処理施設の整備は跡地(約27ha)全体の利活用の中で一体的に検討すべき</u>」との意見が示されてきた。</li> <li>平成29年5月の整備候補地の公表以降, <u>地権者に対する情報提供・説明を行ってきた</u>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平坦な地形。大規模な造成は不要</li> <li>近接箇所に特別高圧送電線が架線済み。発電に伴う受送電が容易</li> <li>ブロック内に<u>収集運搬中継施設2施設が必要</u></li> </ul> <p>【整備費・管理費(15年間)】 73,014百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たにごみ処理施設については, 令和13年度からの稼働が見込まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土淵地区においては, 懇談会, 視察見学会等を通じて, <u>廃棄物エネルギーを利活用した地域振興・まちづくり等に期待する声</u>が寄せられてきた。</li> <li>令和3年2月に, 「<u>土淵地域活動推進協議会</u>」から「<u>盛岡インターチェンジ付近が整備予定地に決定された場合は, 受入れを決定し, まちづくり計画の策定に向けて準備を開始する意向</u>」が表明された。</li> <li>これまで住民説明会, 懇談会等を通じて地域住民への説明・意見交換を重ねてきたほか, 令和2年度においては, 印刷物の全戸配布等により, 丁寧に分かりやすい説明を幅広く行ってきたことなどにより, <u>広域化や施設整備に対する理解の浸透が進んできている</u>と考えられる。</li> <li>地域には様々な意見があることを踏まえ, <u>事業を進める各段階において, 地域への説明・意見交換を繰り返し行っていく必要がある</u>。</li> <li>当該地は旧上厨川地区土地区画整理事業跡地であり, <u>地権者の中には, ごみ処理施設の整備を含め, 土地利用の推進を望む意見がある</u>。</li> <li>平成29年5月の整備候補地の公表以降, <u>地権者に対する情報提供・説明を行ってきており, 今後も情報提供・説明を継続し, 事業への協力を求めている必要がある</u>。</li> <li>総費用は, <u>4候補地の中で最も低い試算結果</u>となっている。</li> </ul>

2 その他の整備候補地の状況 ※平成31年3月までの状況を記載。ただし、「整備費・管理費」は最新の試算結果を記載している。

整備候補地	① 地域住民や関係者の意見等 (住民説明会等での意見, 地域振興策の要望等)		② 整備の確実性 (地権者の状況, 覚書協議等)	③ 整備運営上の諸条件 (造成, 建設, 収集運搬の費用等)	整備候補地の状況 (①~③のまとめ)
	現況	課題等			
都南工業団地付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の住民説明会(1町内会を対象)では、賛成・反対の明確な意見はなかった。</li> <li>平成30年度の住民説明会(5町内会を対象)では反対意見が出されるようになり、31年1月及び2月の住民説明会では、参加者の多くから強い反対意見が寄せられた。</li> <li>平成31年1月、1町内会から、<u>整備計画の撤回を求める要求書が提出された。</u></li> <li>平成31年2月・3月、<u>地域住民で組織する団体から、手代森地区への施設建設に反対する要望書が、反対署名書を添えて提出された。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民等の意見を集約することが難しい状況となった。</li> <li>住民説明会において強い反対の意見が寄せられているほか、施設整備に反対の意思を表示している町内会があり、また、反対要望や署名が提出されるなど、<u>住民説明会の進捗に伴い、施設整備に反対する意見が明確になり、地域住民との対話を継続することが難しい状況となった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明確な反対意思を示している地権者はいなかった。</li> <li>候補地周辺では施設整備や広域化に反対する意見が強くなり地域住民や関係者の理解・協力が得られる可能性が低い状況下で、<u>整備を進めることが困難となった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾斜地。大規模な土地造成が必要</li> <li>県道からの取付道路の整備が必要</li> <li>発電に伴う受送電のための特別高圧送電線の架線が必要</li> <li>ブロック内に収集運搬中継施設2施設が必要</li> </ul> <p>【整備費・管理費(15年間)】 76,517百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民説明会の進捗に伴い、<u>施設整備に反対する意見が明確になってきており、住民との対話を通じて整備への理解を深めることが難しい状況となった。</u></li> <li>施設整備に当たり、大規模な土地造成のための費用を要する。</li> </ul>
盛岡南インターチェンジ付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工関係団体から、地域振興の提案を添えて施設誘致の要望があった場所である。</li> <li>住民説明会では、農作物への影響、風評被害等を懸念する意見や、田園地帯に処理施設を整備することへの疑問の声が寄せられた。</li> <li>平成29年9月、<u>周辺町内会及び農業関係団体等で構成する組織から、農業を振興する上で不適地であり、施設整備に反対する内容の要望書が提出された。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>周辺町内会や関係者の多くから施設整備に反対の意向が示され、その状況に変化がないため、住民説明会等を開催し、地域住民と対話することが難しい状況となった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地権者を含む地域住民や農業関係団体からの反対の声が強く、<u>施設整備への理解・協力が得られる可能性が低い状況下で、整備を進めることが困難となった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平坦な地形。大規模な造成は不要</li> <li>現況が農地(水田)であり、土盛が必要</li> <li>近接箇所に特別高圧送電線が架線済み。発電に伴う受送電が容易</li> <li>ブロック内に収集運搬中継施設2施設が必要</li> </ul> <p>【整備費・管理費(15年間)】 74,780百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>候補地全域が農業振興地域(水田)である立地環境において、周辺町内会に加え、農業関係団体からも施設整備に強く反対する意見があり、<u>地域住民や関係者の理解・協力を得て事業を進めることが難しい状況となった。</u></li> </ul>
盛岡市クリーンセンター敷地	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域化に反対する団体から、当該地への整備に反対する要望書が、反対署名を添えて提出されている。</li> <li>施設整備への反対意思を明確に示している地域・町内会がある。</li> <li>関係町内会に「<u>盛岡市クリーンセンターに関する覚書</u>」に基づく協議を申し入れたが、<u>協議を進めることができない状況となった。</u></li> <li><u>施設整備に対する反対が強く、平成29年度に予定していた住民説明会が中断した。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>関係町内会や関係者の多くが施設整備に反対の意向を示しており、覚書に基づく協議や、住民説明会の開催等に向けて協議・調整を進めることが難しい状況となった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>強い反対意見が出されている地域があり、また、覚書の協議も進めることができず、<u>事業説明も実施できない状況下で、整備を進めることが困難となった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな造成工事は不要</li> <li>発電に伴う受送電のための特別高圧送電線の架線が必要</li> <li>※ 契約電力が、現施設の1,570kwから2,000kw以上(特別高圧)となるため</li> <li>ブロック内に収集運搬中継施設3施設が必要</li> </ul> <p>【整備費・管理費(15年間)】 78,174百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備に反対する意見が多く、<u>地域に対する事業説明や話し合い、覚書に基づく協議を進めることができないなど、地域住民や関係者の理解・協力を得て事業を進めることが難しい状況となった。</u></li> <li>収集運搬中継施設3施設の設置が必要となるため、総費用は、4候補の中で最も高い試算結果となっている。</li> </ul>